



みなみ

2月の生活目標：「健康に気をつけよう」

NO. 25

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400) 文責：益永

～令和5年度学校評価アンケート結果(概要)～

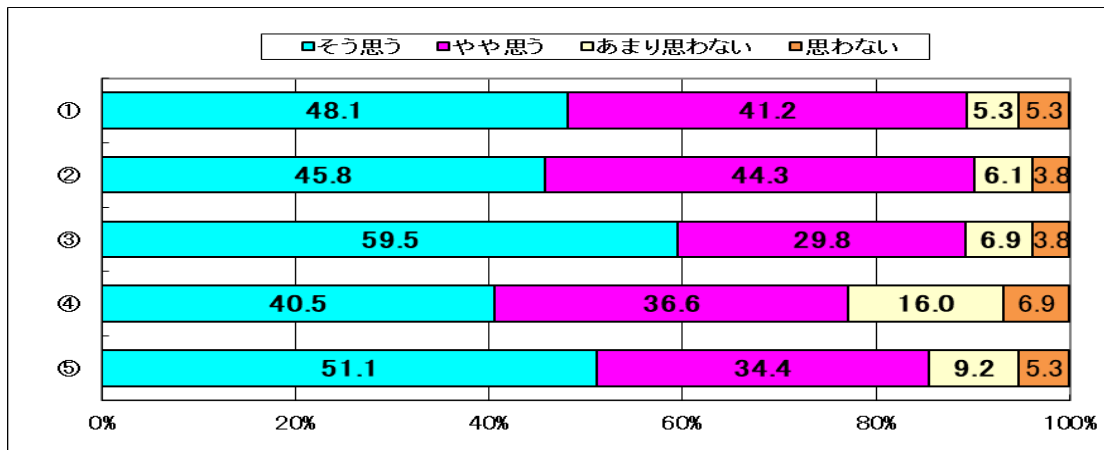
学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果をまとめましたのでご報告します。本調査の結果を真摯に受け止め、学校経営の改善に生かしてまいります。

1. 目的：『信頼される学校づくり』を目指すため、学校の教育目標や教育活動の達成状況等に対する自己評価を行い、学校組織と教育活動の活性化、また、学校、家庭、地域が一体となった特色ある学校づくりのための課題を明確にする。
2. 実施時期：令和6年1月10日～28日
3. 対象者：全児童保護者・3年生以上の児童・地域学校協働本部推進委員・教職員
4. 回収方法：児童・保護者・教職員・・・google フォーム
地域学校協働本部推進委員・・・アンケート用紙
5. 回収：児童131名 保護者146件 教職員19名 地域23名
6. 集計結果・分析

(1) 児童評価

学校満足度について《児童3～6年生：131名》

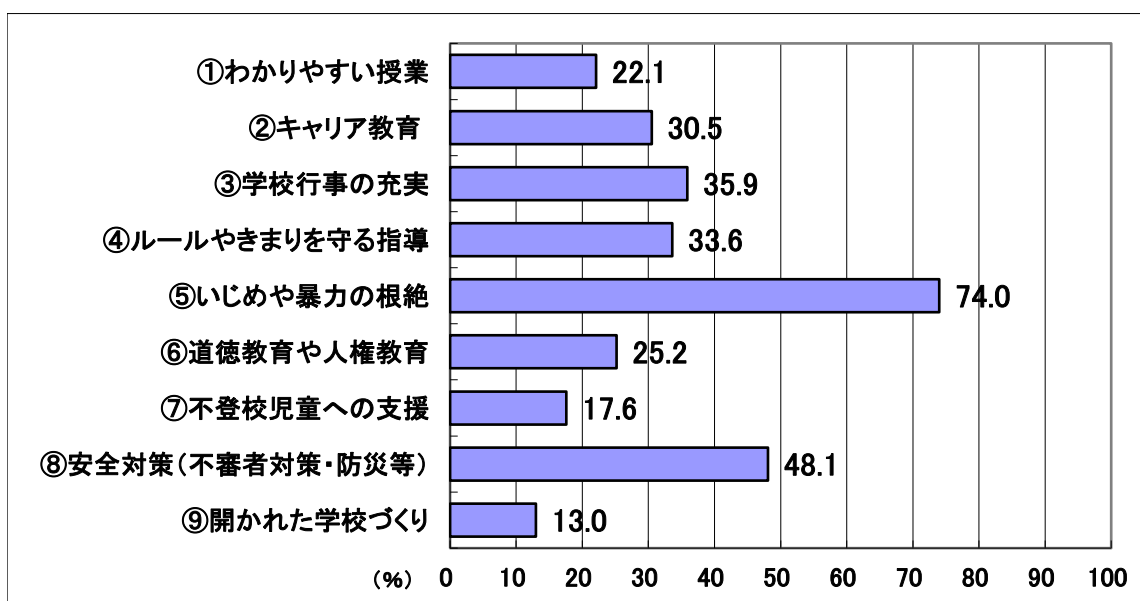
- ①あなたは学校生活が楽しいですか
- ②あなたは授業がよくわかりますか
- ③あなたは自分の学級が楽しいですか
- ④あなたは悩みや困ったことができた時、気軽に先生に相談できますか
- ⑤家庭学習は、学年目標どおりできていますか



項目④以外は、約9割の児童から肯定的評価を得ている。これは、昨年度と同じ傾向である。また、否定的回答については、学年が上がるに従って増加傾向となっている。

学校に力を入れてほしいこと（3つ選択）《児童3～6年生：144名》

- ①わかりやすい授業をする
- ②将来の夢や希望を考える時間をとる
- ③子どもたちが中心となって計画できる学校行事をふやす
- ④学校でのルールやきまりを守ことを指導する
- ⑤いじめや暴力をなくす
- ⑥自分やともだちを大切にしたり、みんなのために役立ったりすることについて、考えたり話し合ったりする学習に力を入れる
- ⑦学校に来られない友だちや来にくい友だちへの家庭訪問や声かけをする
- ⑧あやしい人が入って来たときや地震のときの安全対策をしっかりする
- ⑨学校の先生以外の人にも授業をしてもらったり、保護者や地域の方といっしょに学校のことについて話し合ったりできるようにする

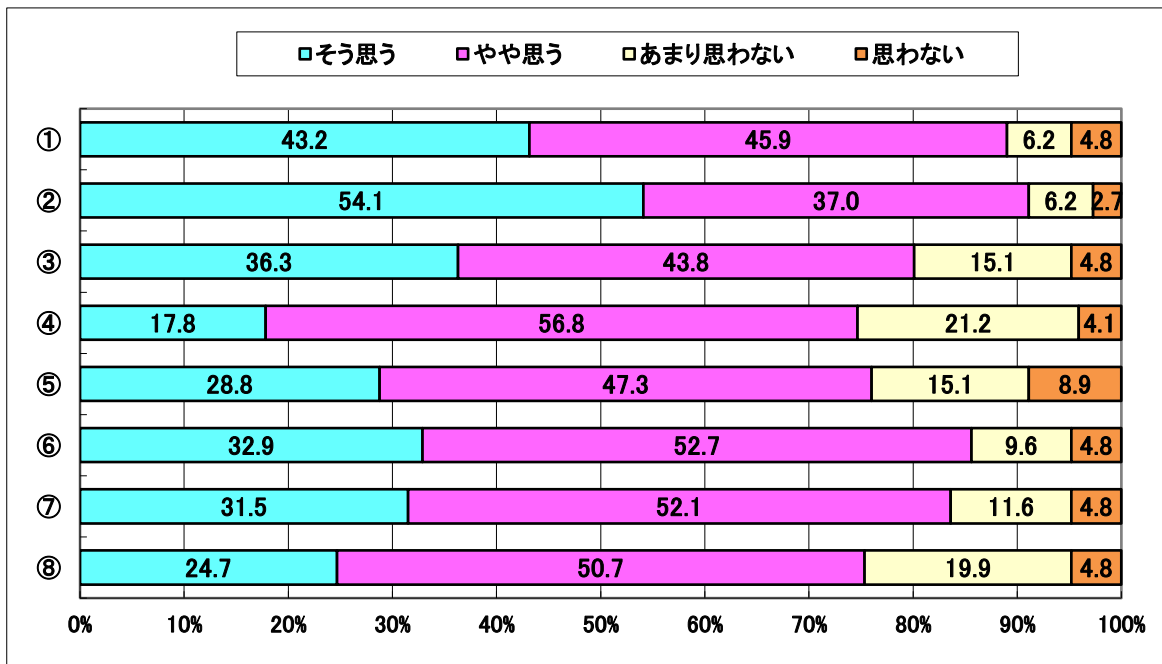


多い順に「⑤いじめや暴力の根絶」、「⑧安全対策」、「③子ども主体の学校行事充実」となっている。⑤と③は、例年、選択する児童が多い。安全対策については、昨年度よりも1.5倍ほど増えた。

(2) 保護者評価の結果

学校満足度について《保護者対象：146件》

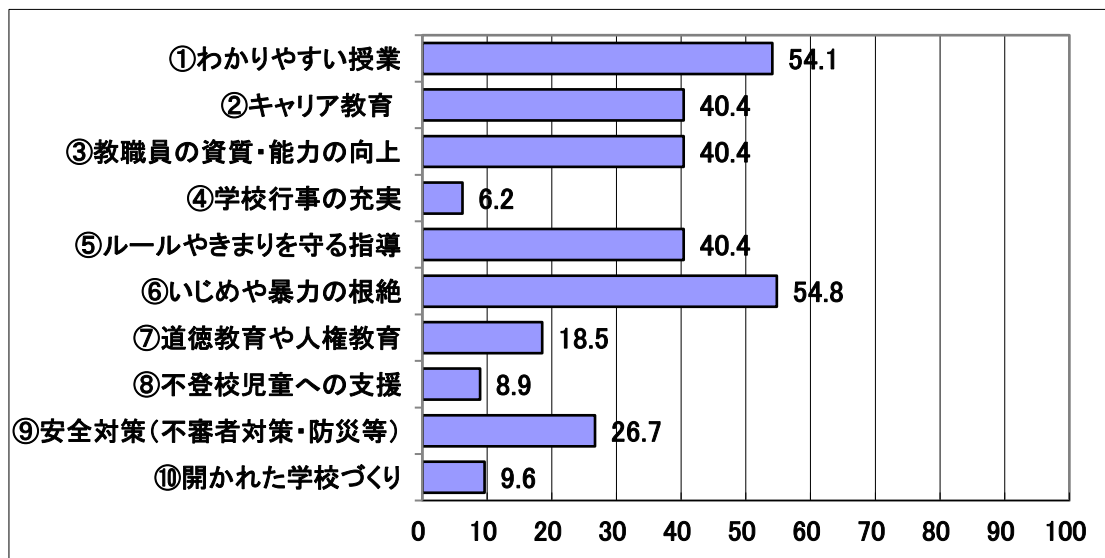
- ①お子さんは学校生活に満足していますか
- ②先生はわかりやすい授業につとめていると思いますか
- ③あなたは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談できますか
- ④お子さんは、家庭学習がしっかりできていると思いますか
- ⑤お子さんに悩みや困ったことがあるとすれば、教職員に気軽に相談していると思いますか
- ⑥子どもたちは自分たちの学級を楽しんでいると思いますか
- ⑦学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか
- ⑧学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか



全体的に昨年度と同じ傾向である。最も肯定的回答が多かったのは、質問項目「②わかりやすい授業につとめている」(91.1%)で、最も肯定的回答が低かったのは、質問項目「⑧児童や保護者、地域の声を学校運営に反映している」(75.4%)であった。

学校に力を入れてほしいこと（3つ選択）《保護者対象：146件》

- ①わかりやすい授業をする
- ②将来のことについて考える機会を設ける
- ③教職員の資質・指導力を向上させる
- ④学校行事を充実させる
- ⑤社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
- ⑥いじめや暴力行為を根絶する
- ⑦道徳教育や人権教育に力を入れる
- ⑧不登校の子どもたちへの支援に力を入れる
- ⑨不審者対策や防災対策など安全対策をしっかりとる
- ⑩開かれた学校づくりを進める

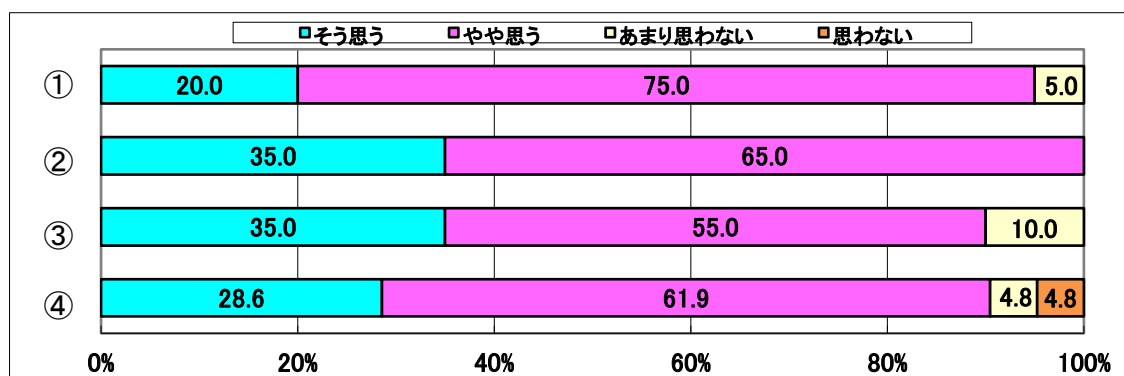


多い順に「⑥いじめや暴力の根絶」、「①わかりやすい授業」、「②キャリア教育」、「③教職員の資質・能力の向上」、「⑤ルールを守る指導」となっている。

(3) 地域学校協働本部推進委員評価の結果

学校満足度について《地域学校協働本部推進委員：23名》

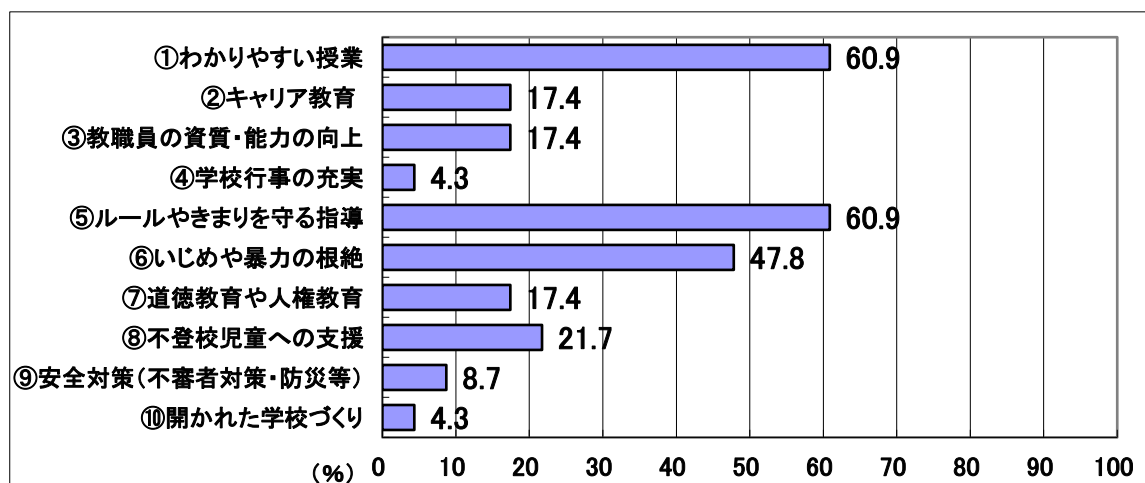
- ①現在の学校の教育活動は満足できる状態ですか。
- ②子どもたちは充実した学校生活を送っていると思いますか。
- ③学校の教職員は意欲を持って教育活動にあたっていると思いますか。
- ④学校は学校や子どもたちの課題をオープンにし、保護者や地域住民と協力して解決できていると思いますか。



どの質問項目も肯定的回答が9割以上となっており、昨年度よりも向上している。

学校に力を入れてほしいこと（3つ選択） 《地域学校協働本部推進委員：23名》

- ①わかりやすい授業をする
- ②将来のことについて考える機会を設ける
- ③教職員の資質・指導力を向上させる
- ④学校行事を充実させる
- ⑤社会のルールやきまりの指導に力を入れる
- ⑥いじめや暴力行為を根絶する
- ⑦道徳教育や人権教育に力を入れる
- ⑧不登校の子どもたちへの支援に力を入れる
- ⑨不審者対策や防災対策など安全対策をしっかりとる
- ⑩開かれた学校づくりを進める

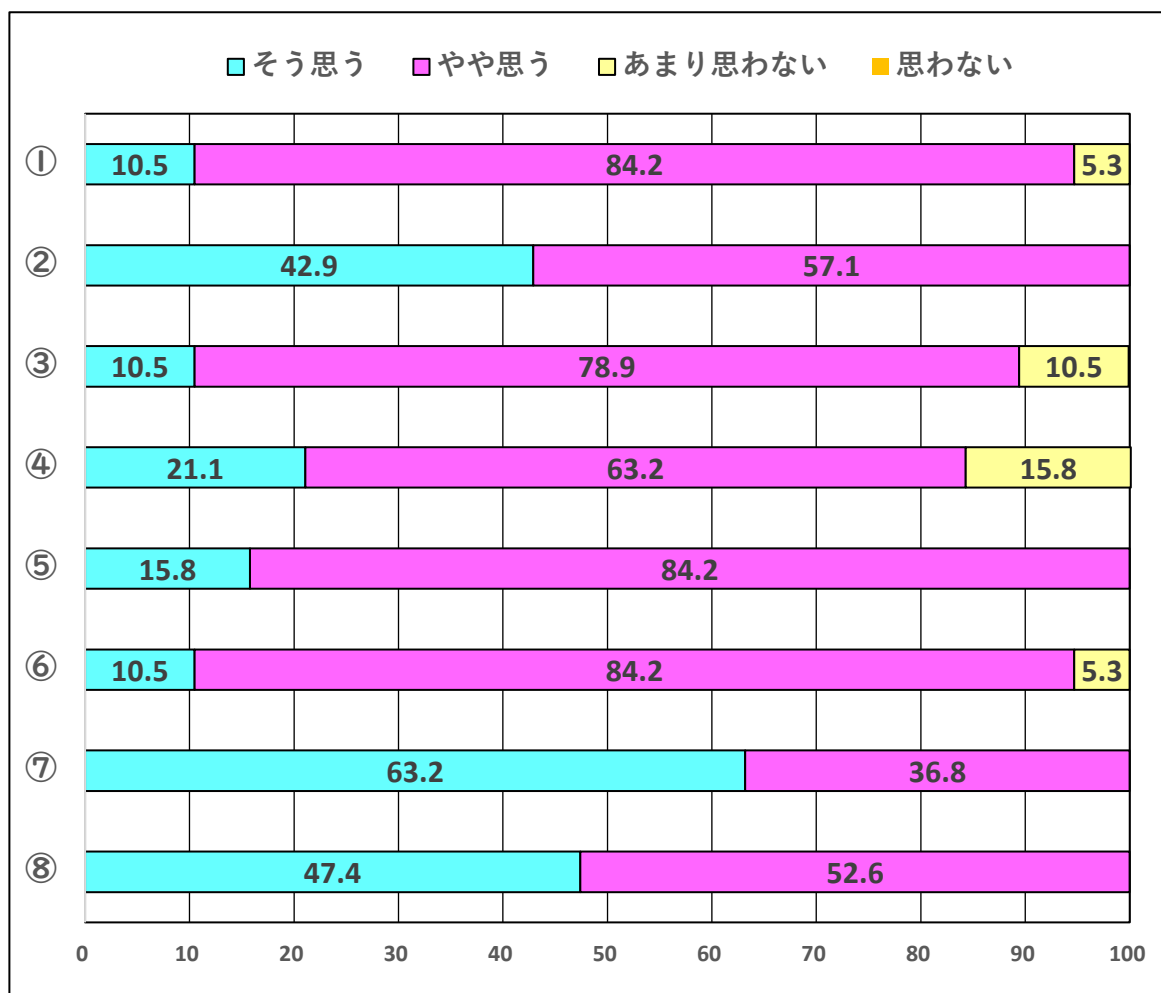


多い順に「①分かりやすい授業」、「⑤ルールやきまりを守る指導」、「⑥いじめや暴力の根絶」となっている。質問項目①については、昨年度よりも約 2.5 倍増加した。一方で、「⑧不登校児童への支援」が昨年度よりも半減している。

(4) 教職員評価の結果

学校満足度について《教職員：19名》

- ①子どもたちは学校生活に満足していると思いますか
- ②あなたはわかりやすい授業につとめていますか
- ③保護者は悩みや困ったことについて、教職員に気軽に相談していると思いますか
- ④子どもたちは、家庭学習の学年目標に到達できていますか(できそうですか)
- ⑤子どもたちは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談していると思いますか
- ⑥子どもたちは自分たちの学級を楽しんでいると感じていると思いますか
- ⑦学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか
- ⑧学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか

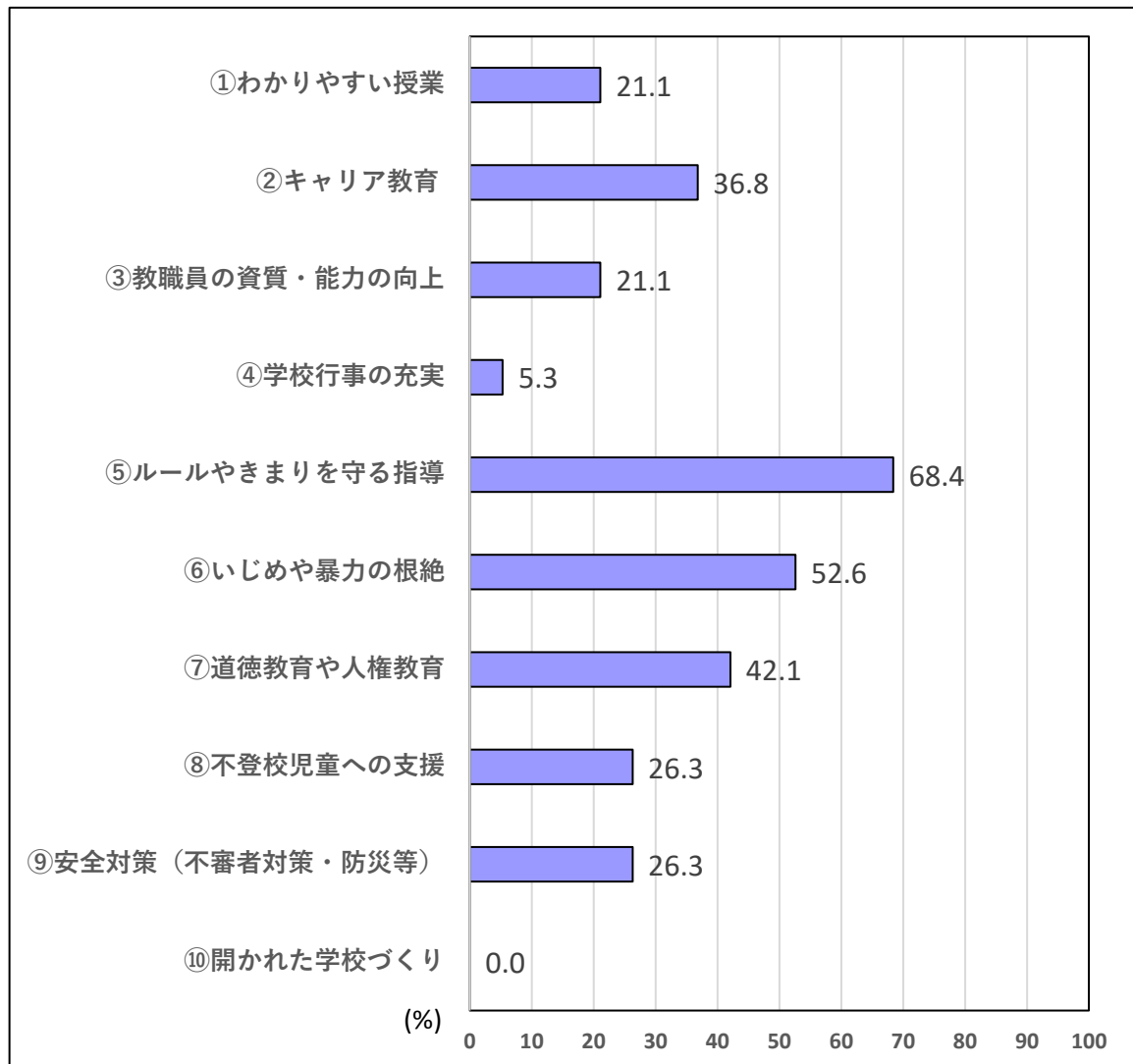


ほとんどの質問項目で肯定的回答が9割以上となっており、全体的に昨年度よりも向上している。その中において、「④家庭学習目標の達成」については、否定的回答が昨年度よりも約5倍増加した。

学校が力を入れなくてはならないこと（3つ選択）

《教職員：19名》

- ①授業改善をする
- ②将来のことについて考える機会を設ける
- ③教職員の資質・指導力を向上させる
- ④学校行事を充実させる
- ⑤社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる
- ⑥いじめや暴力行為を根絶する
- ⑦道徳教育や人権教育に力を入れる
- ⑧不登校の子どもたちへの支援に力を入れる
- ⑨不審者対策や防災対策など安全対策をしっかりとる
- ⑩開かれた学校づくりを進める



多い順に「⑤ルールやきまりを守る指導」、「⑥いじめや暴力の根絶」、「⑦道徳教育や人権教育」となっている。昨年度と比べると、質問項目⑥を選択した教職員が約2.5倍増えた一方で、「①分かりやすい授業」を選択した教職員は約3分の1減少した。

(5)まとめ(分析)

アンケートの共通項目の肯定的評価の割合を比べることで成果と課題の検証を行った。

【学校満足度の共通項目】

	児童	保護者	地域	教職員
学校生活に満足している	89.3	89.1	95.0	94.7
授業に満足している	92.8	91.1	90.0	100
児童は先生に相談しやすい	77.1	76.1		100
保護者は先生に相談しやすい		80.1		89.4
家庭学習目標を達成している	85.5	74.6		84.3
学校は情報提供できている		83.6	90.5	100
学校は意見を反映できている		75.4		100

【力を入れて取り組むことの共通項目】

	児童	保護者	地域	教職員
わかりやすい授業	22.1	54.1	60.9	21.1
将来について考える機会の設定	30.5	40.4	17.4	36.8
教職員の資質・指導力の向上		40.4	17.4	21.1
学校行事の充実	35.9	6.2	4.3	5.3
ルールやきまりを守る指導	33.6	40.4	60.9	68.4
いじめや暴力の根絶	74.0	54.8	47.8	52.6
道徳教育や人権教育の推進	25.3	18.5	17.4	42.1
不登校児童への支援	17.6	8.9	21.7	26.3
安全対策(不審者・防災等)	48.1	26.7	8.7	26.3
開かれた学校づくりの推進	13.0	9.6	4.3	0

○全体的に授業に対する満足度が高い。各種学力調査においても成果が見られていることから、本校の授業改善の取組が一定評価されているものとする。

○児童・保護者に比べて地域の評価が高くなっている。これは、コロナ禍が明け、児童が校外に出かけたり、地域の方がボランティアで教育活動に参加したりする機会が増えたことによる成果と考える。

●学校は「敷居が高い」と言われるが、本校の児童や保護者も教職員に気軽に相談できていないことが分かった。相談体制の充実や関係づくりに取り組む必要がある。

●学校からの情報提供や保護者の声を取り上げることにに関して、学校と保護者の意識の差が大きい。保護者のニーズに合った取組や情報提供ができるよう、アンケート結果を基に見直しを図る。

●授業に関するニーズが保護者と教職員では差が大きい。学力を付けることは、学校の使命であるという認識のもと、今後も授業改善に取り組むことを全教職員で確認する。

令和5年度高知県学力定着状況調査及び標準学力調査の結果

12月に実施した高知県学力定着状況調査(4・5年生対象)と、1月に本校が独自に実施した標準学力調査(1～3年生・6年生対象)の結果をお知らせします。

【高知県学力定着状況調査結果】

学年	4年生		5年生		
	国語	算数	国語	算数	理科
中村南小	77.5	86.3	80.6	77.1	73.4
四万十市	71.7	77.1	75.0	63.3	69.9
高知県	64.5	66.4	72.6	60.3	61.6
全国	64.2	64.8	69.9	58.3	66.3

○4年生も5年生も目標としていた「全国・県・四万十市平均」を5ポイント以上上回っており、特に本校の研究教科である算数においては、その差が大きく、授業改善の成果が表れていると考えます。

●4年生は、記述問題で主語が抜けていたり、「て・に・を・は」の助詞の使い方が適切でない解答が多く見られました。

●5年生は漢字の書き取りに弱さが見られました。

【標準学力調査結果】

学年	1年生		2年生		3年生		6年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
中村南小	68.2	78.4	70.6	69.3	64.6	68.4	64.0	70.3
目標値	73.7	77.0	75.0	72.9	67.6	69.5	63.8	71.1

○全体的に国語よりも算数の方が正答率が高く、目標値との差が小さくなっています。算数科の授業研究の成果と考えます。

○6年生は、国語も算数も正答率が目標値と同程度で、標準的な学力がバランスよく身に付いていると捉えます。

●1年生の国語は、目標値と5ポイント以上差があるため課題と捉えます。特に「聞くこと」「話すこと」に弱さが見られました。

本調査は、あくまで学力の一側面であり、学力の全てではありませんが、一人ひとりの児童にどれだけの学力が身に付いているか、どんな点を伸ばしたり、補ったりしていけばよいかを知ることができます。個々の結果を分析し、基礎・基本の定着を図ると共に、記述式問題にも対応できるよう、授業や基礎学力タイム、家庭学習や放課後の補充学習などを通して、思考力・判断力・表現力の向上に取り組んでまいります。

子ども達の学力は、まだまだ伸びると信じています。保護者の皆様には、児童が持ち帰った個票を一緒に見ていただき、励ましの声かけやアドバイスをお願いします。